

京都市男女共同参画センター（ウイングス京都）の今後の方針（案）について

京都市男女共同参画センター（以下「ウイングス京都」という。）は、京都市の男女共同参画の推進拠点として、併設する京都市中央青少年活動センター（以下「中央青少年活動センター」という。）とともに、市民の皆様に御利用いただいています。

一方、開館から約30年が経過し、社会環境が大きく変化中、市民ニーズが多様化しており、更なる男女共同参画の取組の推進を図るためには、これからの時代を見据え、魅力あふれる施設を目指していく必要があります。

今回、令和4年度に実施した、サウンディング型市場調査の結果等も踏まえ、以下のとおり、ウイングス京都の今後の方針（案）をお示しし、取組を進めてまいりますので御報告いたします。

1 ウイングス京都を取り巻く状況

- (1) ウイングス京都は、男女共同参画に関する講座や相談事業の実施、図書情報室をはじめとする男女共同参画に関する様々な施策の取組の情報収集・提供、女性グループ・団体等の自主的活動の場の提供などの機能を有し、多くの市民が利用している。
- (2) 平成6年の設置から約30年が経過し、人口減少や少子高齢化、人生100年時代の到来、デジタル化の進展、コロナ禍における女性の貧困問題など社会環境は大きく変化し、市民ニーズも多様化してきている。

2 施設の利用状況等

- (1) コロナ禍において来館者数が一時減少したものの、徐々に回復しつつある状況。

○ 来館者数

	R元	R2	R3	R4	R5
来館者数（人）	436,987	236,428	222,035	325,812	347,308

※ 中央青少年活動センター等への来館者も含む。

- (2) 利用者の年齢層は40代以上の方が多く、若年層の利用が少ない状況。立地の良さや中央青少年活動センターが併設されている環境が活かしきれていない。

40代以上の利用が全体の約80.4%

○ 利用者層

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	回答なし
割合	0%	6.1%	11.1%	17.0%	17.0%	23.2%	23.2%	2.4%

※ 利用者アンケート（令和6年8～9月実施）

(3) 各施設の稼働率は7～8割となっているものの、施設毎の稼働率に差が生じている。

○ 貸館施設の日数稼働率

階層	貸館施設	R元	R2	R3	R4	R5	直近5か年 平均*
4階	スポーツルーム	99%	89%	99%	100%	99%	97.2%
	会議室(2室平均)	96%	68%	79%	87%	88%	83.6%
2階	イベントホール	49%	19%	31%	41%	45%	37.0%
	セミナー室(2室平均)	80%	60%	76%	81%	76%	74.6%
	会議室(6室平均)	94%	81%	90%	94%	93%	90.4%
	和室(2室平均)	58%	43%	48%	59%	65%	54.6%
	ビデオシアター	42%	17%	27%	58%	62%	41.2%
	調理コーナー	56%	25%	27%	33%	40%	36.2%
1階	ギャラリースペース	60%	22%	28%	37%	38%	37.0%
地下1階	会議室(3室平均)	92%	57%	70%	84%	89%	78.4%
	音楽室	91%	60%	92%	93%	94%	86.0%
	フィットネスルーム	88%	72%	92%	91%	92%	87.0%
全室平均		84%	61%	73%	79%	81%	75.6%

※ 太字部分は全室平均を大きく下回っているもの

3 サウンディング型市場調査の結果

(1) 提案募集期間

令和4年6月10日から9月30日まで

(2) 調査対象エリア

1階及び2階一部

(3) サウンディング項目

調査対象エリアを活用した、ウイングス京都の新たな価値の付加・更なる魅力の向上等につながるアイデア等

(4) 調査結果概要

不動産業、コンサルタント業、サービス業や建設業の民間事業者6社から、事務所、社会福祉施設、飲食や物販等の施設に係る提案が出された。

<主な提案内容>

- ・ 飲食スペース (カフェ、レストラン等)
- ・ 物販
- ・ レンタルオフィス
- ・ コワーキングスペース
- ・ 社会福祉施設 など

<提案の概要>

- ・ 女性の社会進出を応援できるような仕組みづくりに関する事。
- ・ ベンチャー企業やスタートアップ事業を考えている方向けへのアプローチなど企業誘致に関する事。
- ・ 子どもも楽しめる空間づくりなど多世代交流に関する事。
- ・ 公園での子ども向け集客イベントやマルシェの実施など公園との関連に関する事。

4 サウンディング型市場調査後の検討状況

- (1) 民間事業者の提案を踏まえ、賑わい創出のためのスペースや、これまで利用の少なかった世代へのアプローチにつながる親子が集える空間などの具体化について、引き続き事業者と意見を交わしながら検証を継続。
- (2) 施設の稼働状況、施設の老朽化への対応やウイングス京都の効率的かつ効果的な事業運営につながるレイアウトのあり方についても検討を継続。
- (3) 併せて、ウイングス京都の周辺の関係施設や周辺地域との交流機会の創出についても検討を重ねてきた。

5 利用者ニーズの状況

- (1) 実施期間：令和6年8月6日から9月30日まで
- (2) 対象者：アンケート実施期間中にウイングス京都を利用された方
- (3) アンケート項目
 - ・ ウイングス京都で、魅力を感じている点
 - ・ ウイングス京都の魅力向上に向けて、どのような施設機能があったらいいか
 - ・ 多くの方に利用してもらうためには、どういった取組や機能が必要か
- (4) 主な回答内容

＜魅力を感じている点＞

- ・ 立地が良く、利便性が良い

＜どのような施設機能があったらいいか＞

- ・ カフェなどの飲食スペース
- ・ 市民のためのフリースペース

＜多くの方に利用してもらうためには、どういった取組や機能が必要か＞

- ・ 誰でも気軽に利用できるレストラン・カフェの充実
- ・ トイレの充実（洋式化、自動水栓等）
- ・ 集客につながるようなイベントの実施

6 京都市男女共同参画市民意識調査

本市における男女共同参画に関する市民の意識や日常生活の状況等を把握し、本市が取り組むべき課題と今後の施策の方向性を明らかにすることを目的に実施した調査。

- (1) 実施期間：令和6年10月18日から11月6日まで
- (2) 対象者：18歳以上の京都市民
- (3) アンケート項目及び回答（抜粋）
 - ・ あなたはこれまで「ウイングス京都」を利用したことがありますか。
「知っているが利用したことはない」30.6%
「知らない」59.1%
 - ・ あなたが「ウイングス京都」を利用されない理由は何ですか。（複数回答）
「利用目的がない」69.5%
「利用する機会がない」40.3%

7 今後の方針（案）

- (1) 男女共同参画社会をより一層推進していくためには、ウイングス京都の持つ優れた機能を維持しつつ、中央青少年活動センターを併設していることも活かして、若い世代を含む、多くの方々に施設を知っていただき、多様な方々に施設を活用していただくことが重要であり、前例に捉われない、民間事業者の自由な発想やノウハウ等を積極的に取り入れることとする。
- (2) ウイングス京都のより効率的・効果的な運営を目指して、施設のレイアウトを見直すことで、より多様な方々の交流を生み出し、賑わいを創出するとともに、男女共同参画や女性活躍に資する機能の充実を図っていく。
- (3) 中央青少年活動センターや様々なノウハウを有する民間事業者と連携し、施設の活性化を図ることにより、男女共同参画社会の実現のための取組を更に推進していく。
- (4) ウイングス京都と周辺の関係施設や周辺地域との交流を促進することで、多様な世代が集える場を創出する。

8 今後のスケジュール（案）

令和7年2月 ウイングス京都に係る関係予算案を提案

令和7年度中 民間事業者をプロポーザル方式により公募、選定

（参考）ウイングス京都の概要

所在地	京都市中京区東洞院通六角下る御射山町262番地
構造	鉄筋鉄骨コンクリート造 地上4階地下2階（中央青少年活動センターと併設）
土地面積	2,883㎡
延床面積	10,440㎡
主な設備	図書情報室、相談室、子どもの部屋、貸館（イベントホール、会議室等）